

令和3年度 生活支援事業協議体 進捗状況

	分類	内容	対応(案)
1	ちょっとした困りごと	見守り協定を結んでいる事業所でちょっとした困りごとについて対応できないか。	事業所に郵送にて普段の見守りの中で対応できることはないかアンケートをとったが、対応できるなどの回答は得られなかった。
2	ふれあい収集	ゴミ出しのサービスのニーズがあるが要件があり利用できないことがある。	今後もっとニーズがあるようなら要件の緩和など考える必要がある。声をたくさん集めてから担当課に相談していく予定。
3	スマホ相談会	10月11日(月)AM9時30分～12時30分、PM1時30分～16時30分で実施。相談員4名は都が派遣。	東京都の事業を活用し実施。午前、午後合わせて59名の来場、57名の方が相談された。今後もやって欲しいとの要望あり、東京都の事業等活用できるものを検討しながら実施していく予定。
4	スマホ講座	10月～11月にかけて講座を実施。希望者多く、1クラス定員10名のところ12名に増員して対応。	48人全員が参加された。講座は好評で楽しかったとの声が聴けた。アンドロイドスマホ、らくらくホン利用者が多い。同じ機種でないと対応が難しい。2月にも開催予定。
5	オンライン説明会	東京都の補助金を利用し、タブレット、ルーターなどを購入。介護予防・フレイル予防のために市民に活用してもらうよう説明会を実施。	3回実施し、計12名の方が参加。なぜ市がタブレットの貸し出しをするのかについての経緯や背景を説明。実際にオンラインにつないでみる体験を行った。
6	オンライン活用講座	12月に2日間コースでオンライン活用講座を開催。Webexの使い方を学んだ。	オンライン活用講座に19名が参加。電源の入れ方、wifiのつなぎ方から行い、ミーティングへの参加、招待の仕方を学んだ。
7	オンライン実践	1月にオンライン講座を受講した人とオンラインでおしゃべりをする会を2回実施。	1名がオンラインで参加。6名が会場でサポートを受けながら参加した。まだまだ練習が必要との声があり、2月7日にも実施する。
8	スマホ講師養成講座	スマホ相談会、スマホ講座を開催したくても教えられる人が必要。	東京都のデジタルサービス局のモデル事業を活用し講師養成を予定している。コロナ感染状況により今年度の開催は調整中。
9	男性のための介護者サポーター養成講座	NPO法人UPTREEに委託。講座修了後は男性の居場所づくりとして哲学カフェを開催する。	9名参加。講座受講後は4～5名が哲学カフェに参加している。介護をしている男性や社会参加する場となっていくように連携していく。
10	短期集中サービスCモデル事業	新規要介護認定で要支援となった方等を対象に実施。サービスC終了前に多職種で個別地域ケア会議を実施。	生活支援コーディネーターも参加し、事業修了後地域の中で参加できる地域資源等を提案した。
11			
12			